

3年生 焼き物でわたしたちの学校を飾ろう

1 授業プログラムの特色

(1) ねらい

- ・ 商店街で行っている「陶彫のある町づくり」について知り,陶彫に込められた地域の人々の気持ちを感じ取る。
- ・ 焼き物作りを体験し,焼き物に親しむ。
- ・ 自分たちの焼き物を学校に飾ることで地域の人々の活動や思いに迫る。

(2) 連携・協力していただいたNPO等

- ・ 陶彫会
- ・ 陶芸会
- ・ とこなめ中央商店街

(3) 授業プログラムのよさ

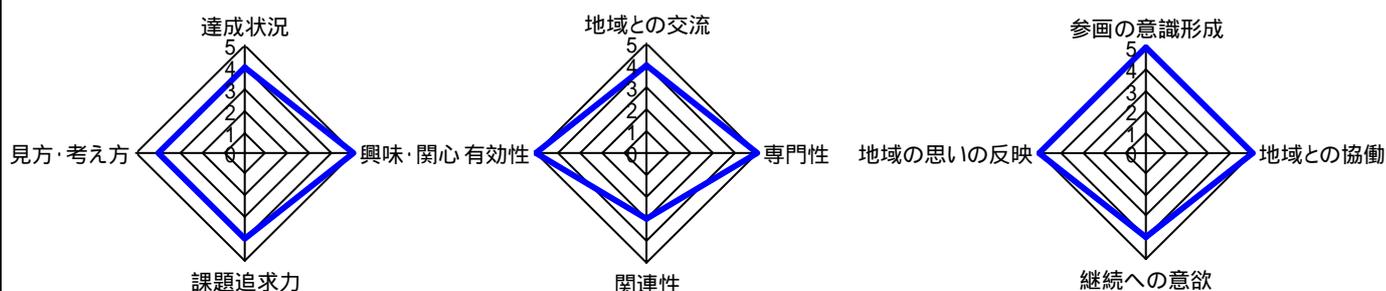
- ・ 本町通りにある30あまりの陶彫探しを中心にして,地域の様子を知るとともに,地域の活動の意義に気付かせる。
- ・ 自分たちでつくった焼き物で学校を飾ることで,地域に愛着を持たせる。
- ・ 多くの外部人材の方とのふれあいにより,常滑の人々の生き方や人柄にふれさせる。

(4) 検証の視点による評価のレーダーチャート

【子ども：学びの成果】

【教材：授業プログラムとしての質】

【教師：教師の意識】



〔子ども〕見方・考え方：校区探検をしたり,焼き物のお面をつかって飾ったりする活動を通して常滑に対する見方や考え方が変わったか。

〔教材〕有効性：焼き物のお面を地域や学校に飾る活動は,地域を大切にする児童の育成というねらいを達成するのに有効であったか。

〔教師〕地域の思いの反映：商店街の「陶彫のある町づくり」を見たり,実際に焼き物をつかって飾る活動の中で,教師は,地域の人々の思いを単元計画や課題の設定・発問などに反映させることができたか。

2 第3学年授業プログラム

(1) プログラム名(単元名) 「焼き物でわたしたちの学校を飾ろう」

(2) ねらい

- ・本町通りの焼き物に関心をもち、自分たちの学校を飾るためにできそうな活動を調べる。
- ・焼き物をつくる体験や設置する活動を通して、学校美化の大切さに気付く。
- ・焼き物の作品の作り方を知り、学校で役立つものをつくる。
- ・自分たちの活動についてまとめ、本町通りの商店街や家庭に分かりやすく伝える。

(3) 時間数 21時間完了

(4) 学習計画

時	本時のねらい	児童の学習活動	教師の支援	評価計画	備考
1	18年度の活動を振り返り、19年度の活動の見通しをもつ。	18年度の陶彫設置でよかったことを話し合う。 ・地域の方に喜んでもらった。 ・自分たちの記念になった。 ・感謝の会ができてよかった。 19年度の活動について考える。 ・学校の様子 ・飾ることはどんな利点があるのか	18年度の活動を振り返る資料を提示する。 ・写真、スライド ・ニュースの録画ビデオ ・新聞記事・作文など 3年生のテーマ「学校」から焼き物で学校を飾るためにできそうな活動を考えさせる。	学校の環境に関心をもち、学校をきれいにすることを考えようとする。 (話し合い) (ワークシート1)	《準備するもの》 ・ワークシート1 ・18年度の記録(写真・スライド・ビデオ・新聞記事の切り抜き・作文)
2	地域の陶彫に興味をもち、単元のねらいにそって計画を立てる。	本町通りに設置してある陶彫について知っていることを発表し合う。 ・場所 ・題名 ・作者 ・数 など 本町通り以外の陶彫についても知っていることを発表する。	陶彫は、なぜ飾らせているのか、考えさせことで地域の人の思いに目を向けさせるようにする。 陶彫があることによってどんな利点があるのか考えさせる。	本町通りの陶彫の様子について考える。 (話し合い)	《準備するもの》 ・本町通りの陶彫の写真

時	本時のねらい	児童の学習活動	教師の支援	評価計画	備考
3	本町通りの陶彫を調べに行く計画を立てる。	見学の計画を立てる。 ・グループ ・持ち物 ・調べる内容 など	陶彫の様子だけでなく、飾ることの意義もインタビューしてくるようにさせる。	自分たちの課題にあった見学の計画を立てようとする。 (話し合い) (ワークシート2)	【事前の手配】 ・とこなめ中央商店街と打ち合わせ 《準備するもの》 ・ワークシート2
4 5 6	自分たちの予想をもとに、本町通りを見学する。	本町通りの陶彫について調べる。 商店街の人にインタビューをして、なぜ陶刻を飾っているのかを聞き取る。	聞き取り調査と同時に、気に入った陶彫をデッサンさせることにより親しみをもたせるとともに児童の陶彫作成に生かすようにさせる。	陶彫を飾る意義が理解できる。 (ワークシート3)	《準備するもの》 ・ワークシート3 ・デジタルカメラ 【依頼する外部人材】 ・とこなめ中央商店街 必要に応じてライブミュージアムの見学も行う。
7 8	調べてきたことを発表する。	グループごとに調べてきたことをまとめて発表する。 ・図や表にして ・写真を提示して ・スライドをOHCで	調べてきたことが全体に伝わりやすい方法を助言する。	調べてきたことを分かりやすくまとめて発表できる。 (発表・観察)	《準備するもの》 ・デジタルカメラ ・OHC ・スクリーン ・プロジェクター ・発表用紙
9	調べてきたことをもとに自分たちの学校を飾るものを考える。	学校を飾るものをつくる計画を立てる。 ・何をつくるか ・飾ることは、どんな利点があるか	どこに飾るのか、どれぐらいの大きさが妥当か、事前に把握しておく。	目的にあったもので、制作可能なものを考える。 (話し合い) (ワークシート4)	【事前の手配】 ・外部人材との日程調整 《準備するもの》 ・ワークシート4 (製作の計画書)
10	自分たちのつくりたいものについて製作の見通しをもつ。	作り方を調べる。 アイデアスケッチをする。	協力者の陶芸家の方に、児童のアイデアやスケッチの相談にのっていただく。	大まかな作り方や準備について知り、製作の見通しをもつ。 (ワークシート5)	【依頼する外部人材】 ・陶彫会 《準備するもの》 ・ワークシート5 (製作スケッチ)

時	本時のねらい	児童の学習活動	教師の支援	評価計画	備考
11 13	焼き物のよさを感じ取りながら製作する。	昨年の経験を生かして実際につくる。	作品を完成させる上でどうしても必要な部分は、専門家の手助けをいただく。	習った知識や技能を生かして思いを込めて作品をつくる。 (製作・観察)	【依頼する外部人材】 ・陶彫会 【事前の手配】 ・焼成場所との連絡
14	陶彫製作を振り返り今後の活動について考える。	陶彫を製作した感想を話し合う。 お礼の手紙を書く。	陶彫づくりに協力してくださった方々に感謝の気持ちを伝える方法を助言する。	陶彫を製作した感想を自分の考えを交えて発表する。 分かりやすく丁寧に相手をお願いすることができる。	《準備するもの》 ・便せん 【事前の手配】 ・設置方法の相談
15	設置の見通しをもつ。	できあがった作品を設置する準備をする。 ・設置の場所 ・設置の日時 ・設置の方法	設置の方法については、専門家の方に教えていただく。	設置の見通しをもち設置の方法がわかる。 (観察)	【依頼する外部人材】 ・INAX
16 17	設置をすることで地域や学校に貢献できた喜びを味わう。	協力して設置をする。	未永く飾ることができるよう、自分たちでできることを考えさせる。	設置した意義や自分たちの果たした役割について感じ取る。 (観察)	【依頼する外部人材】 ・INAX ・陶彫会 《準備するもの》 ・ビス・段ボール ・粘土用ボンド
18	自分たちの活動を振り返り、家の人や協力していただいた商店街の人に知ってもらおう。	活動についてまとめ、家庭と商店街に発信する計画を立てる。 ・活動のまとめ方を考える。 ・発信の方法を考える。	家庭には個人で、商店街にはグループで、まとめるようにさせる。	何を伝えるのか、ポイントをおさえてわかりやすく発信しようとする。 (観察)	《準備するもの》 ・ワークシート6 (発信計画)

